

平成25年行政事業レビューシート

(厚生労働省)

<b>事業名</b>	独立行政法人国立重度知的障害者総合施設のぞみの園施設整備に必要な経費（復興関連事業）		<b>担当部局庁</b>	社会・援護局障害保健福祉部		<b>作成責任者</b>	
<b>事業開始・終了(予定)年度</b>	平成23年度		<b>担当課室</b>	企画課施設管理室		佐藤潤	
<b>会計区分</b>	一般会計及び東日本大震災復興特別会計		<b>政策・施策名</b>	Ⅶ-1-1 障害者の地域における生活を支援するため、障害者の生活の場、働く場や地域における支援体制を整備すること			
<b>根拠法令 (具体的な条項も記載)</b>	独立行政法人国立重度知的障害者総合施設のぞみの園法第5条第2項		<b>関係する計画、通知等</b>	独立行政法人国立重度知的障害者総合施設のぞみの園 第三期中期計画・(H25.3.29)			
<b>事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)</b>	独立行政法人国立重度知的障害者総合施設のぞみの園の建物の安全性の確保等に必要な施設整備を行うことを目的とする。						
<b>事業概要 (5行程度以内。別添可)</b>	独立行政法人国立重度知的障害者総合施設のぞみの園の施設の整備工事 補助率10/10						
<b>実施方法</b>	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
<b>予算額・執行額 (単位:百万円)</b>	予算の状況	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求	
		当初予算			561		
		補正予算		62			
		繰越し等			62		
	計		62	623			
	執行額		0	554			
執行率(%)		0.0%	89.0%				
<b>成果目標及び成果実績 (アウトカム)</b>	成果指標		単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (年度)
	独立行政法人国立重度知的障害者総合施設のぞみの園における建物の改修及び修繕等に要する経費であるため、定量的な目標を示すことは不可能である。	成果実績	—	—	—	—	—
		達成度	%	—	—	—	
<b>活動指標及び活動実績 (アウトプット)</b>	活動指標		単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	改修及び修繕等の施工件数	活動実績 (当初見込み)	件数	0	0	2	0
				(0)	(1)	(1)	(0)
<b>単位当たりコスト</b>	—		算出根拠	—			
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由			
	独立行政法人国立重度知的障害者総合施設のぞみの園施設整備費	0	0				
	計	0	0				

事業所管部局による点検						
	項目			評価	評価に関する説明	
国 必 費 投 入 の 性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。			○	重度の知的障害者に対する自立のための先導的かつ総合的な支援を提供するための施設であり、国が整備して実施する必要がある。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。			○		
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。			—		
事 業 の 効 率 性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。			○	一般競争入札を採用して支出先を選定する等支出先の選定は妥当である。	
	受益者との負担関係は妥当であるか。			—		
	単位当たりコストの水準は妥当か。			—		
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。			○	一般競争入札を実施するなどの措置を講じており、中間段階での支出は合理的なものとなっている。	
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。			○	適切な施設運営を行うために老朽化した施設等の整備を行い、必要な経費に限定されている。	
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)			○	工事費の入札差金。	
事 業 の 有 効 性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。			—		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。			—		
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。			○	施設運営に十分活用されている。	
重 複 排 除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。 (役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)			—		
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
点 検 結 果	<p>重度の知的障害者に対する自立のための先導的かつ総合的な支援を提供するための施設であり、適切な施設運営を行うためには老朽化した施設等の整備は必要な事業である。平成24年度の執行率はほぼ9割となっており、事業の効率性についても、適切な支出先の選定と支出を行っている。</p>					
外部有識者の所見						
外部有識者点検対象外						
行政事業レビュー推進チームの所見						
—						
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
—						
備考						
平成24年度限りの事業						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成22年		平成23年		平成24年	1002

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

厚生労働省  
554百万円(平成23年度、平成24年度)



A 独立行政法人国立重度知的障害者総合施設のぞみの園  
54百万円(平成23年度)前年度からの繰越分  
500百万円(平成24年度)



《一般競争入札実施分》

B (株)ヤマト 493百万円

〔給水設備等改修工事〕

C (株)大信工業 52百万円

〔耐震補強工事〕

D (株)ユウ設計事務所 2百万円

〔耐震補強工事設計業務〕

《随意契約分》

E (株)ヤマト 5百万

〔高圧真空遮断機交換工事〕

F 栗原宏道一級建築士事務所  
1百万

〔共同溝等改修工事設計業務〕

G 三富設計工房 1百万

〔給水設備等改修工事設計業〕

資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)  
(単位:百万円)

費目・使途  
 (「資金の流れ」に  
 においてブロックご  
 とに最大の金額  
 が支出されている  
 者について記載  
 する。費目と使途  
 の双方で実情が  
 分かるように記  
 載)

A.独立行政法人国立重度知的障害者総合施設のぞみの園			E.(株)ヤマト		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
補助金	給水設備改修工事等	500	工事費	高圧真空遮断機交換工事	5
補助金	耐震補強工事	54			
計		554	計		5
B.(株)ヤマト			F.栗原宏道一級建築士事務所		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
工事	給水設備等改修工事	493	雑役務費	共同溝等改修工事設計業務	1
計		493	計		1
C.(株)大信工業			G.三富設計工房		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
工事費	耐震補強工事	52	雑役務費	給水設備等改修工事設計業務	1
計		52	計		1
D.(株)ユウ設計事務所			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	耐震補強工事設計業務	2			
計		2	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	独立行政法人国立重度知的障害者総合施設のぞみの園	給水設備改修工事等	500		
2	独立行政法人国立重度知的障害者総合施設のぞみの園	耐震補強工事(平成23年度)前年度からの繰越分	54		

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)ヤマト	給水設備等改修工事	493	2	87.9

C.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)大信工業	耐震補強工事	52	3	87.4

D.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)ユウ設計事務所	耐震補強工事設計業務	2	3	94.8

E.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)ヤマト	高圧真空遮断機交換工事	5	随意契約	

F.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	栗原宏道一級建築士事務所	共同溝等改修工事設計業務	1	随意契約	

G.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	三富設計工房	給水設備等改修工事設計業務	1	随意契約	